

## スタジオベルソー 使用規約

スタジオベルソー（以下、「ベルソー」という）の使用契約締結にあたり、使用者は本使用規約を遵守し、事前に確認しなくてはならないものとする。また、使用契約締結後、使用者は本使用規約に従い、ベルソー管理者（以下、「管理者」という）の指示のもとベルソーを使用しなくてはならないものとする。

### 1. 使用方法

使用者によるベルソーの使用方法は、次の通りとする。

- (1) 音楽コンサート、演劇等の興行、発表会、研修会、会議。
- (2) 前号のほか、管理者が承認した使用。

### 2. 使用期間および使用料金

- (1) 使用期間とは、使用場所において催事の準備を開始する時刻から催事終了後原状回復作業を完了して使用場所から退出する時間までの期間をいうものとする。なお、原状回復とは、付帯備品（椅子・テーブル等）が入館時に設置されていた元の場所に戻すこと、もしくは管理者の指示に従い、所定の形・収納スペースに戻すことをいうものとする。
- (2) 使用時間は、別紙料金表の使用時間区分とする。使用者は料金表の使用時間区分を選択し、管理者および管理者の承諾を得るものとする。  
使用料金の中には、下記各号の時間区分会場費と機材費（施設・椅子、MC用マイク一式・照明）、ドリンクサーバー利用が含まれるものとし、料金表に定めるとおりとする。なお、使用者は使用予定時間を使用契約に記載するものとする。
- (3) 使用に際し、前項の使用時間区分にて時間外延長が必要な場合は、準備、設営、リハーサル、撤去など使用用途に関わらず、料金表に定める時間外延長料を適用するものとする。但し、時間外延長は管理者の承認を得た場合に限るものとする。
- (4) 使用料金の総額は、使用料金と時間外延長料・追加付帯設備料の合計額とする。料金表は別紙に定めるとおりとする。
- (5) 仕込み日、リハーサル日、撤去日等公演本番を行わない日に関しては、別途定める料金表の通りの使用料とする。

### 3. 使用申込と手続き予約申込および契約

- (1) 休館日は、年末年始及び夏季とする。但し、施設・設備の点検等のため臨時に休館する場合を除くものとする。
- (2) 予約申込可能期間は、希望期日の1年前から開始とする。
- (3) 使用者は、申込の際、催事目的、内容を管理者に伝えなければならないものとする。  
管理者は、その催事内容を本使用規約等に照らし、使用の可否を決定する権限を持

つものとする。

- (4) 使用者は、仮予約期間内（仮予約の意思表示より 14 日以内を「仮予約期間」とする）に、使用契約締結の意向について管理者に連絡しなければならないものとする。使用契約締結の意向表明より 14 日以内に使用契約の締結に至っていない場合には、特に管理者が認めた場合を除き、申込は無効になるものとする。
- (5) 使用者は、使用契約締結の意向がある場合は、その旨を管理者に連絡し、所定の使用契約書に記入の上管理者に提出するものとする。管理者に使用契約書が届き、管理者の承認をもって使用契約成立とする。

#### 4. 使用料金の支払い方法

所定の使用料金を管理者が指定する方法に従って、使用の 3 日前までに指定口座に支払うものとする。なお、指定口座への振込にかかる振込手数料は使用者負担とする。

原則、使用料金は返還しないものとする。開催日当日、更に時間外延長料などが発生した場合は、開催日当日に現金で管理者に支払うものとする。但し、管理者が特別に認めた場合はこの限りではない。

提出書類 管理者が必要と判断した場合は、使用者に対し、会社案内、現在事項証明書、印鑑証明書等、管理者が指示する書類の提出を求めることができ、使用者はこれに従わなければならないものとする。

#### 5. 使用契約の解約

- (1) 使用契約は、使用者より解約の申し入れがあった時に当然に終了するものとする。この場合、管理者は違約金として、使用料金合計の全部または一部を下記各号の区分に従い徴収し、このほか管理者が被った損害を使用者に対し、請求することができるものとする。
  1. 使用開始日より 3 ヶ月前までのキャンセルのときは使用料の 30%。
  2. 使用開始日より 1 か月前までのキャンセルのときは使用料の 50%。
  3. 使用当日のキャンセルのときは使用料の 100%。
- (2) 前項によって使用契約が終了したときは、管理者は、受領済の使用料金から違約金の額と返金による振込手数料を差し引いた額を使用者に返還するものとする。万一、受領済の使用額が違約金の額に満たないときは、使用者は、その不足額をキャンセル日から 14 日以内に管理者に支払うものとする。

#### 6. 使用の制限 反社会的勢力の排除

- (1) 管理者および使用者は、それぞれ相手方に対し、下記各号の事項を確約するものとする。
  1. 自らまたはその役員（業務を執行する社員、取締役、執行役またはこれらに準ず

る者をいう。)が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員(以下総称して「反社会的勢力」という)ではないこと。

2. 使用目的が暴力団その他反社会的団体の勢力を誇示するためであったり、これらの資金源とするためにイベントを行うなど暴力団その他反社会的団体を援助・助長し、またはその運営に資するものでないこと。

(2) 管理者および使用者は、反社会的勢力の排除に厳正に取り組んでおり、双方が相手方による前項の確約に依拠して使用契約の締結および履行をするものであることを確認する。 使用権の譲渡禁止 使用者は、使用契約上の自らの地位を第三者に譲渡、承継させてはならないものとする。また、使用者は使用契約から生じる自らの権利義務の全部または一部を第三者に譲渡し、引き受けさせもしくは担保の用に供してはならないものとする。

## 7. 施設管理権

(1) 使用者が本使用規約の定めに違反しもしくは管理者の注意に従わない場合、または顧客その他第三者が本使用規約の定めに違反しもしくは管理者の担当者・使用者の従業員その他関係者の注意に従わない場合は、管理者はこの者をベルソーから退場させることができる。

(2) 使用者および観客その他第三者は、ベルソーにおいて自己の身体および財産について自らの責任と負担でこれを管理するものとする。管理者は、ベルソーでの盗難、紛失、障害等の損失に対して、当該損失が管理者の故意または重過失により発生した場合を除き、一切責任を負わないものとし、使用者はこれに異議を述べないものとする。

(3) 使用者は前二項の定めについて、自らの責任と負担で関係者や顧客に周知徹底しなければならないものとする。

## 8. 管理者の立入権

管理者は、ベルソーの維持、保安および管理等のために使用期間内に、いつでもベルソーの適宜の場所に立入り、必要な措置を講ずることができるものとする。この場合、使用者は、管理者が講ずる措置に必要な協力をしなければならないものとする。

## 9. 使用開始前および開始中の契約の解除

(1) 使用者が下記各号のいずれかに該当したときは管理者は使用者に対し、何らかの催告をすることなく直ちに使用契約を解除することができる。この場合、解除の通知を発信したときに使用契約は当然に終了する。

1. 使用契約書に虚偽の記載をしたことが判明した場合。

2. 管理者が催事の内容について法令または公序良俗に反すると認めたとき。

3. 管理者の信用を毀損する行為があったとき。

4. 管理者が、ベルソーおよび近辺に迷惑を及ぼすおそれがあると判断したとき。

5. 社会的な道徳または倫理に反する行為があったとき。

6. 管理者の運営方針に反する行為があったとき。
7. 本使用規約に違反していることが判明したとき。
8. 仮差押、仮処分、強制執行もしくは競売の申立を受け、または公租公課の滞納処分を受けたとき。
9. 自ら振り出した手形もしくは小切手の不渡処分を受け、または銀行取消処分を受けたとき。
10. 営業を廃止し、または解散したとき。
11. 営業停止処分を受け、または営業免許もしくは営業登録の取消処分を受けたとき。
12. 破産手続開始、民事再生手続開始もしくは会社更生手続開始の申立を受け、または自らこれらの申立をしたとき。
13. 経営状態が悪化し、使用契約を継続することが著しく困難であると客観的に認められたとき。
14. 催事の内容等により管理者、使用者、第三者の間に紛争を生じ、またはそのおそれがあるとき。
15. 上記「4. 使用料金の支払い方法」に定める各支払日までに、所定の使用料金が支払われなかったとき。
16. 前各号の他、使用者が使用契約および本使用規約に定める事項を遵守しないとき、または管理者が指示した事項に従わないとき。

- (2) 前項によって使用契約が終了したとき、管理者は、使用者に対し、受領済の使用料金を一切返還せず、使用料金総額の全部を取得し、このほか管理者等が被った損害の賠償を請求できるものとする。この場合、万一、使用料金の未払いがあるときは、使用者は、管理者に対し、未払い額の全額を使用契約終了日から3日以内に支払うものとする。

#### 10. 免責および損害賠償 付保義務

使用者は、催事開催に関連する万一の事故等による損害を補償するため、使用者の責任と負担において保険会社との間にイベント保険などの損害保険や、傷害保険等を締結するよう努めるものとする。なお、管理者が特別に損害保険や傷害保険等への加入が必要と判断する場合は、使用者はその指示に従わなければならないものとする。

#### 11. 不可抗力などによって使用が不可能となった場合の措置

- (1) 天災地変やテロ等の不可抗力、その他管理者の責に帰すことができない事由によって、ベルソーが使用できなくなった場合、使用契約は当然に終了するものとする。
- (2) 前項に関わらず、台風や大雪等により公共交通機関の運休、道路の破損、水没等が生じた場合でも、ベルソー自体が使用可能な場合は使用契約は終了しないものとする。その際、使用者がベルソーの使用を中止した場合も、管理者は使用者に対し、使用料

金を返還しないものとする。

- (3) 第1項の場合、使用者は未払いの使用料金の支払いを要さず、管理者は使用者より支払われた使用料金をすみやかに使用者に返還するものとする。但し、この場合の催事の中止に伴う損害について、管理者は一切補償しないものとする。
- (4) 第1項の場合、使用者は管理者に対し、損害賠償その他何らの請求をすることができず、万一、観客その他の第三者との間に紛議が生じたときは、自らの責任と負担にてこれを処理解決し、管理者に対し財産上の負担その他一切の迷惑を及ぼさないものとする。
- (5) ベルソーの機材・設備の故障等により、使用者および観客の所期の目的が達成されなかった場合であっても、管理者は、使用料金の返還以上の損失補償はしないものとする。
- (6) 来場者、使用者、管理者の生命安全確保の必要性がある事由によって、使用者が催事の目的に従ってベルソーを使用できなくなった場合、使用契約は当然に終了するものとする。但し、使用者にいかなる損害が生じても、当該損害が管理者の故意または重過失により発生した場合を除き、管理者は一切の責任を負わないものとする。また、国や政府からの開催中止要請（もしくはそれに準ずるもの）が発令され、管理者が認めた場合に限り、使用料金を使用者に返還するものとする。但し、管理者は、使用料金の返還以上の損失補償はしないものとする。

## 1.2. 使用者の損害賠償責任

- (1) 使用者、その従業員、使用日の観客、その他の関係者がベルソーを使用するに際して諸施設を汚損または毀損したときは、使用者は管理者に対し、原状回復のための費用その他これによって管理者が被った損害を賠償するものとする。
- (2) 使用期間中に観客その他の第三者に人身事故その他の損害が生じたときは、ベルソーの施設上の問題に起因する場合を除き使用者は、全て自らの責任と負担にて当該観客らに対し直接損害を賠償し、管理者の指示に従い謝罪広告の掲載等信用回復のための措置をとり、管理者に対し財産上の負担その他一切の迷惑をかけるはならないものとする。
- (3) 前項の場合、管理者が第三者より責任を追及され当該第三者に損害賠償を行ったときは、管理者は直ちに使用者に対し、損害賠償に要した費用の一切を請求できるものとする。

## 1.3. 使用前の打合せ 付帯設備の使用およびその使用料等

- (1) 使用者が、ベルソーに設置された管理者所有の付帯施設の使用を希望するときは使用開始日の1ヶ月前までにその詳細（スケジュール、会場設営、使用設備等）について管理者と打合せし決定するものとする。この場合、使用可能な付帯設備は管理者が指定し、使用者は、使用方法、使用時間、使用料金およびその支払方法、使用期日その他に関して全てベルソーの定めに従わなければならないものとする。
- (2) 使用者は、会場内での施工がある場合は、1ヶ月前までに施工図面、仕込み図、電気図

面を管理者に提出し、施工内容について管理者と打合せし、管理者の承諾を得たうえで決定するものとする。なお、施工等に際してベルソーおよび近辺に迷惑を及ぼす騒音・振動・異臭等を伴うものについては、施工前施工中にかかわらず施工時間の制限、ならびに施工中止を管理者は指示することができるものとし、使用者は当該指示に従わなければならないものとする。

- (3) 使用者が外部の音響・照明・映像等の業者を使用する場合は、使用日以前に管理者と業者が打合せを行い、使用期間中は管理者の指示に従わなければならないものとする。
- (4) ベルソー内における電気工事・臨時電話工事については、管理者と事前に打合せの上、管理者の承諾を得たうえで決定した工事内容を、使用者の責任と負担で行うものとする。免許・資格が必要な作業を行う場合は、管理者は当該免許・資格証の提出を求められることができるものとし、使用者は当該要求に従わなければならないものとする。
- (5) 使用者は、付帯設備および備品を使用する場合は、使用開始前に設備の数量・破損等現況を管理者と事前に確認しなければならないものとする。

#### 1 4. 関係諸官庁への届出

使用者は、ベルソーを使用するにあたって、使用者の責任と負担において、以下の各号の所轄の諸官庁等に対して、法令等に基づく必要な届出を行い、当該諸官庁等の指示に従うものとする。この場合、使用者は、常に届出内容について事前に管理者の承諾を得て、かつ、諸官庁等から受けた指示の内容を直ちに管理者に通知するものとする。万一、届出不備のためベルソーの使用が不可能となった場合、管理者は当該届出不備が管理者の責に帰す場合を除き、一切責任を負わないものとする。

#### 1 5. 使用管理

- (1) 使用者の責任担当者は、使用期間中、ベルソーに常駐するものとする。また、使用者による、荷物の発送、受け取りは使用時間内に限るものとする。
- (2) 使用者は、常に善良な管理者の注意をもって使用場所を使用し、全て自らの責任と負担にて、催事の運営、催事に必要な全ての事前準備および催事終了後の原状回復作業を行うものとする。
- (3) 使用者が、ベルソーを使用するにあたって必要な受付、人員整理、誘導、特別来場者対応および警備を、全て使用者自らの責任と負担にて行うものとする。
- (4) 使用者は、ベルソー、ベルソー周辺およびベルソーの入っている建物内、建物周辺（以下、「ベルソーおよび近辺」という）における観客の誘導を、管理者が指示する方法に従って行い、観客に人身事故その他一切の迷惑を及ぼさないように常に万全の配慮を講じなければならないものとする。

#### 1 6. 禁止事項

使用者は、下記各号の行為をしてはならず、また、観客その他第三者にこれらを行わせてはならないものとする。

1. 管理者の承諾なくしてベルソーおよび近辺で物品の販売、募金、およびチラシその他の宣伝物の配布、掲示、撮影、またはこれに類する行為を行うこと。
2. ベルソーおよび近辺に危険物を持ち込むこと。
3. 使用者がチケットを販売する場合、反社会的勢力およびその構成員ならびにその関係者にチケットを販売すること。
4. 反社会的勢力およびその構成員ならびにその関係者をベルソーに入場させること。
5. 政治、宗教活動等に関係すること。
6. 催事の内容が、公営競技（競馬、競輪、競艇、オートレース）等に関すること。
7. 管理者指定の場所以外の場所で飲食、喫煙すること。 8. ゴミを投棄するなど、ベルソーおよび近辺を不衛生な状態にすること。
9. 騒音、振動、異臭を発生するなどベルソーおよび近辺に迷惑となる行為をすること。また、出演者および来場者をして、騒音、振動が発生するおそれのある行為（ダイブ・モッシュ・ジャンプ等）をさせること。
10. ベルソーの壁、床、器具その他および備品の一切に対し、汚損、損傷または破壊等の悪影響を及ぼすおそれのある行為をすること。また、建物、付帯設備への釘打ちおよびガムテープ貼りをすること。
11. 暴力行為、無謀行為等自己および他人に危険を生じさせる行為をすること。
12. 過度に照明を暗くし、もしくは過剰な音量を発生するなど心身の健康に支障を来す演出、または博打もしくは富くじの販売等、社会通念を逸脱する企画を行うこと。
13. 自転車、バイク、自動車などを路上駐車すること。
14. 人員数（90人）を超える顧客の動員、および重量（500Kg/m<sup>2</sup>）を超える機械設備等の設置。
15. ベルソー使用者、関係者等がベルソー使用後に飲酒運転を行うこと。また、ベルソー使用後に運転を行う者に、飲酒を勧めること。
16. 盲導犬、介助犬、聴導犬以外の生体の持込。
17. 管理者の保有する画像・名称・連絡先等を無断で使用するすること。
18. 管理者の事前の承諾を得ずに火気の使用および調理を行うこと。
19. 前各号の他、管理者がベルソーの諸設備の維持または保全のために禁止した事項。
20. 前各号の他、ベルソーおよび近辺で、顧客その他の第三者に迷惑を及ぼす言動および行為、管理者が禁止した事項。

#### 17. 催事終了後の措置

- (1) 使用者は、催事終了後、全て使用者の費用にて使用場所に搬入した使用者の設備等を搬出し、ポスター、看板類等を速やかに撤去し、使用場所を清掃して原状に回復し、使用期間満了の時までに使用場所から退出するものとする。
- (2) 使用者は、前項の原状回復作業について、全て管理者の監督および指示に従うものとする。
- (3) 使用者は、催事終了後、必ず管理者立会の元、原状回復状況の確認を行うものとする。

- (4) 使用者が使用期間満了の時までに原状回復を完了しなかったときは、使用者は、管理者に対し、原状回復完了の時までの超過時間につき時間外延長料金を支払い、このほか管理者が被った損害を賠償しなければならないものとする。
- (5) ゴミは使用者が自らの責任と負担で持ち帰らなければならない。
- (6) 釘、その他身体に危険、悪影響を及ぼすおそれのあるものの残置など、第1項に定める原状回復に問題（隠れた問題も含む）があり、これにより管理者、その他の第三者が損害を被った場合は、使用者はその損害を賠償しなければならないものとする。

#### 18. 騒音規制等

使用者は、ベルソーを使用するにあたり騒音規制に関する法令等および管理者の指示を遵守し、その他周辺環境の維持に努めなければならないものとする。 非常時における対応

- (1) 使用者は、ベルソーの使用に際して、不測の事態に備え非常口、消火設備、避難方法などを事前に確認するとともに、作業員等関係者に対して周知徹底しなければならないものとする。
- (2) 地震、火災その他の非常事態が生じた場合に対処するため、使用者は消防署その他の関係諸官庁へ提出した書面に記載された事項を熟知しなければならないものとする。
- (3) 地震、火災その他の非常事態が生じ、関係諸官庁から特別な指示があった場合、使用者は、自らの責任と負担でこれに従い対処し、また、管理者の指示に従わなければならないものとする。

#### 19. 撮影および放映・放送等

- (1) 使用者は、ベルソーおよび近辺にて録画、録音または撮影（以下、「本件撮影等」という）をするときは、使用開始日の1ヶ月前までに、本件撮影等の目的、使用する器材について、所定書式にて管理者に申し入れ、管理者の承諾を得なければならないものとする。
- (2) 使用者は、本件撮影等によって作製した映像もしくは画像（以下、「映像等」という）の放映、上映、放送、配信、出版、製品化など（以下、「放映等」という）を希望するときは、事前にその詳細を所定書式にて管理者に申し入れ、承諾を得なければならないものとする。映像等を二次使用する場合も同様とする。
- (3) 使用者は、映像等の放映等を行う場合、当該放映等において、ベルソーの景観および広告物の映像に変更、切除その他の改変を加えることはできず、これらの告知の内容および方法は、使用者と管理者が協議して定めるものとする。
- (4) 使用者は、管理者の事前の承諾を得た場合に限り、第三者に映像等の放映等の権限を譲渡し、または放映等を許諾することができるものとする。この場合、当該第三者に前各項の定めを厳守させなければならないものとする。 定めのない事項 本使用規約に定めのない事項は、使用者がベルソーを健全な目的のために円滑に使用することを第一義として、誠意をもって管理者と使用者 間で協議の上、円満に解決するものとする。

る。

## 20. 管理者の権利保護

- (1) 管理者の競合する企業の使用、管理者の権限を侵害するおそれのある申し入れ等が使用者よりあった場合、管理者の意向が第一優先されることを、使用者は異議なくこれを了承するものとする。

## 21. 使用可能施設

- (1) 使用者が各種の催事のために使用することができるベルソーの施設は、4F サロン・化粧室・更衣室、5F ホワイエ・5F ホール、基本舞台設備（バトン設備・照明音響映像設備・備品等）に限るものとする。
- (2) 使用者は、前項の諸施設のうち一部の施設を使用しない場合にでも、使用料の減額を請求することはできないものとする。
- (3) 使用者は、第1項の諸施設に付帯する設備を使用できる。但し、この場合の使用料その他の使用条件については本使用規約の定めに従うものとする。

## 22. 定型約款に関する規定 本使用規約の変更

- (1) 本使用規約は民法第548条の2第1項に定める定型約款に該当し、管理者は下記各号の場合に、管理者の裁量により本使用規約を変更することがあるものとする。
  1. 本使用規約の変更が、使用者の一般の利益に適合するとき。
  2. 本使用規約の変更が、使用契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性その他 変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。
- (2) 前項により、管理者が本使用規約を変更する場合、本使用規約を変更する旨および変更後の本使用規約の内容ならびにその効力発生日について、効力発生日の1ヶ月前までに、ベルソーのホームページに掲示し、または使用者に電子メールで通知するものとする。
- (3) 変更後の本使用規約の効力発生日以降に、使用者がベルソーを使用したときは、本使用規約の変更同意したものみなす。

本規約制定日 2022年1月1日